

ネイティブフラボバクテリウム・ヘパリナムコンドロイチナーゼB

Cat. No. NATE-1950

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	コンドロイチナーゼBは、エリミネーションメカニズムを介して、デマトン硫酸（コンドロイチンB）中のヘキソサミンとイドウロン酸残基の間に1-4結合を含む多糖鎖を切断します。この反応により、不飽和ウロン酸を含むオリゴ糖生成物（主に二糖）が生成され、232 nmでUV分光法によって測定できます。
用途	研究試薬（糖鎖生物学、デマトン硫酸からのオリゴ糖ライブラリの調製）。HPLCによるコンドロイチン硫酸の含量の決定。
別名	コンドロイチナーゼB; EC 4.2.2.19; コンドロイチンBリアーゼ; ChonB; ChnB

製品情報

由来	フラボバクテリウム・ヘパリナム
EC番号	EC 4.2.2.19
CAS登録番号	52227-83-5
分子量	55 kDa
活性	>200 IU/mg（基質：デマトン硫酸）
等電点	9.4-9.6
pH安定性	5.0-10.0
最適pH	7.0-8.0
最適温度	20°C - 37°C
特異性	デマトン硫酸（コンドロイチン硫酸B）。
単位定義	コンドロイチナーゼBの1国際単位（IU）は、30 °CおよびpH 8.0で、デマトン硫酸から1.0 μmoleの不飽和オリゴ糖を1分放出する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

安定性	12ヶ月間、-20°Cで、リン酸ナトリウムと5%のスクロースを含む水性バッファー中で冷凍保存。
-----	---